

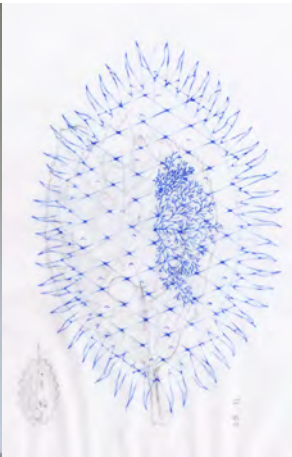


ARTCOURT Gallery

Yagi Art Management, Inc.

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

Art Court Frontier 2015 #13 展覧会開催のご案内



関西アート界から、若手アーティストを発信します。

今後の活躍が期待される関西にゆかりのある若手アーティスト4組によるグループ展を開催します。

Art Court Frontier展は2003年よりアニュアルで継続開催しており、今年13回目を迎えます。本企画では、美術界の第一線で活躍中のキュレーター、アーティスト、ジャーナリスト、批評家などに出演アーティストの推薦を1名ずつ依頼しています。

過去12回は、関西からの若手作家の動向を大きく掴み、通観いただくために約10組によるグループ展として開催して参りました。会場では新進気鋭の作家がエネルギーをぶつけ合い作品展示を展開し、各年の特色を見せながら、瑞々しいエネルギー溢れる展覧会となりました。

今回より、本企画が参加作家のより強固なアピール拠点となるための展開として、これまでの趣旨を引き継ぎつつ、それぞれの充実した紹介を目標に加え、出演アーティスト数を半数程に絞り込むことで会場スペース面の制約を軽減し、ダイナミック且つ十分な余白空間が採用できる作品展示を致します。

流れる時間を切り取るように、レーザーポインターの光が通過してゆく。東島孝子[推薦:豊永政史]は、時間・身体・記憶をテーマに、既製品(他者)と作家が生成したもの(主体)とが混在した空間で、インスタレーションを展開してゆきます。反復する日常の中に生じる差異を手がかりに、他者と主体との関係の中でこそ、時間が生み出されていることに気づかされます。

「目の前にあるものを見て理解する」行為に意識を向け、人の認識をあぶり出しながら「ものの本来の姿」について探究する堀川すなお[推薦:吉岡恵美子]。モチーフの質感や色味などの要素を排除し、青色鉛筆のみで描かれるドローイングは、物質の内側を緻密に観察し、コンパスや定規を用いて、さながら製図のように正確に構造と細部を写し取ってゆきます。表れたイメージは普段私達が抱いているものと大きく異なり、理解しているはずのものに潜む未知の側面が浮かび上がります。堀川はまた「形を観察、説明する言葉をもとに描く」場合など、伝達の方法で変化する認識を辿り、「見ること/見えること」をテーマに制作を続けています。

ガラスとその周囲に存在する、張りつめた、無意識に息を潜めてしまうような感覚。脆さ、繊細さ、弱さを持つからこそ強い印象を与える――。

谷口 嘉[推薦:以倉 新]は、作為を最小限に抑え、素材が持つ道理に委ねながら成された形を受け入れ、ガラスそのものをコンセプトとし、作品に昇華させてゆきます。

contact Gonzo[推薦:安部美香子]は、肉体を衝突させるスリリングな即興的パフォーマンスや映像、写真作品で人々を魅了しています。暗黙のルールに則りながらも、喧嘩と見まがうほどの激しい動きは、合理化とエコノミーの時代に置き忘れた「ただの身体」を、見るもの一人一人に取り戻させてくれます。本展では、写真作品を発表予定。

今後の活躍が期待されるFrontier作家たちによる「関西の現在」を、どうぞお見逃しなく! (*敬称略)

images:左より | contact Gonzo 《portraits with flying yellow object》(撮影:contact Gonzo)、東島孝子《River on a Wall》(撮影:豊永政史)、堀川すなお《葉っぱ#2》(部分)、谷口嘉《Untitled》(部分)

【展覧会概要】

展覧会タイトル: Art Court Frontier 2015 #13

会 期: 2015年8月1日(土)～9月12日(土)

*日・月 休廊、8月2日(日)のみ11:00～18:00開廊

会 場: アートコートギャラリー 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

開廊時間: 11:00～19:00 (土曜日は～17:00)

出展作家: 推薦者4名による推挙により各1作家、計4作家を選出 *別紙参照

◆関連イベント: 8月2日(日)

ギャラリートーク: 15:00～16:30

[出展作家によるプレゼンテーション + 推薦者とのディスカッション]

*参加費500円 (ドリンクサービス有、要予約)

レセプション: 16:30～18:00

主 催: アートコートフロンティア展開催実行委員会、アートコートギャラリー

協賛・協力: 三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社 他

認 定: 公益社団法人企業メセナ協議会



※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ: アートコートギャラリー (八木・灰田) 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F
E-mail: info@artcourtgallery.com URL: www.artcourtgallery.com TEL: 06-6354-5444 FAX: 06-6354-5449

01 **contact Gonzo**

contact Gonzo

写真

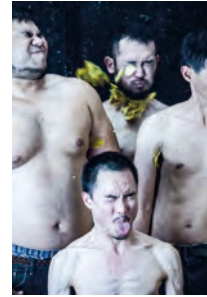
推薦者

安部美香子

朝日新聞記者

2006年に塚原悠也と垣尾優により結成。肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、即興的なパフォーマンス作品や、映像、写真作品を制作。contact Gonzoとは、集団の名称であると同時に彼らの追究する方法論の名称でもある。現在、事務所を自分たちで作りながら、様々な果物を時速100キロで身体に打ち込む実験や、山中の斜面を滑り降りる「山サーフィン」を開発中。メンバーは個々においてもそれぞれの分野で作品を発表。

吉原治良賞記念プロジェクト 2008 入賞、トヨタコレオグラフィアーワード2014 ファイナリスト（塚原悠也として）、2014年 京都国際舞台芸術祭参加。



《portraits with flying yellow object》

2014

撮影：contact Gonzo

02 **谷口 嘉**

Yoshimi Taniguchi

ガラス、インスタレーション

推薦者

以倉 新

静岡市美術館学芸課長

1978年 神奈川県生まれ

2001年 多摩美術大学立体デザイン専攻

クラフトデザイン専修ガラスコース卒業

｜主な展覧会｜

2015年 2kw 変電所計画「バランスのとり方」

石川 丘子・谷口 嘉・奈良田 晃治 三人展
(2kw gallery、大阪)

2013年 谷口 嘉展 (2kw gallery、大阪)

新世代への視点2013 (ギャラリー現、東京)



《Untitled》2015



03 **東島 孝子**

Takako Higashihata

彫刻、インスタレーション

推薦者

豊永 政史

デザイナー

1984年 大阪府生まれ

2008年 京都市立芸術大学美術学部彫刻専攻卒業

2011年 Garrit Rietvert Academic 陶芸専攻卒業

｜主な展覧会｜

2015年 「40 years Galerie De Witte Voet」
(Galerie De Witte Voet、オランダ)

2014年 「(almost) Starting over」 (コーポ北加賀屋、大阪)

2011年 個展「Moon, River」(Galerie De Witte、オランダ)



《Ceramic》2014

撮影：豊永政史

04 **堀川すなお**

Sunao Horikawa

平面

推薦者

吉岡恵美子

インディペンデント・キュレーター

1986年 大阪府生まれ

2008年 クーパーユニオン芸術大学交換留学

2010年 京都精華大学芸術学部造形学科洋画専攻卒業

2012年 京都市立芸術大学美術研究科絵画専攻油画分野修了

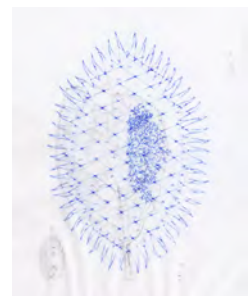
2015年 平成27年度 ポーラ美術復興財団在外研修員としてニューヨークにて研修中

｜主な展覧会｜

2015年 「解釈と行為 SEEING AND PRACTICING」
(大阪府江之子島文化芸術創造センターRoom.2、大阪)

2013年 「クリテリオム 8 7 堀川すなお」
(水戸芸術館現代美術ギャラリー第9室、茨城)

2010年 「descriptive geometries」 (Kodama Gallery、京都)



《葉っぱ #2》(部分)

公益財団法人
ポーラ美術復興財団
POLA ART FOUNDATION